

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 97 号 平成 25 年 12 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張国守平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

「卵活」？

産婦人科部長

宮田 敬三



就活、婚活、妊活などに続いて「卵活」なる言葉が登場しました。その意味は、いつか子供を産む日のために、できる限り若いうちに卵子の凍結保存を行うことのようにです。晩婚化が進む現在、卵子の質が良いうちに凍結保存するという考え方は理にかなっているかも知れません。しかしいろんな問題点もありそうです。

日本生殖医学会は、今年 11 月 15 日に、健康な独身女性の卵子の凍結保存を容認する指針を決定しました。元々は医学的適応として、悪性腫瘍治療による性腺機能低下が予想される場合に、あらかじめ卵子を凍結保存しようというものでした。今回新たに社会的適応として、加齢による性腺機能低下が予想される場合に、同様の行為を容認しようというものです。

以下は指針の骨子です。

- ・加齢などによる性腺機能の低下が予想される場合。
- ・卵子の採取時に 40 歳以上は推奨しない。
- ・凍結卵子の使用時に 45 歳以上は推奨しない。
- ・実施にあたっては口頭と文書で十分に説明。
- ・本人死亡の場合は直ちに廃棄。
- ・生殖可能年齢を過ぎた場合は通知の上で廃棄。

技術的な問題が気になるところですが、2000 年に確立された Cryotop 超急速冷却法により、卵子において細胞活性を高く維持したまま、長期にわたり保存が可能となりました。また融解した卵子の体外受精の受精率、胚移植後の妊娠率などは、新鮮卵子と比較しても差がないようです。

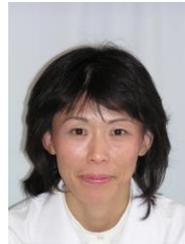
そして安全面ですが、2012 年 10 月に米国生殖医学会は次の見解を発表しました。染色体異常、先天異常、および発育障害などのリスクが増大することはなく、すでに臨床技術であるとするガイドラインです。

問題点として、晩婚化が進み高齢出産が増えたことを踏まえての対応ですが、逆に晩婚化や高齢ハイリスク妊娠を増加させないかという懸念があります。また患者負担も問題で、採卵および卵子凍結にかかる費用が 70～80 万円と高額で、万民に機会均等を願いたいところです。

前回の新型出生前診断同様、倫理や法整備を超えたテクノロジーの進化に驚くばかりです。

こどもの便秘

小児科副部長
桑原 里美



以前からこどもに便秘はつきものですが、最近のこどもの便秘は様変わりしてきているように感じます。

①排尿・排便が自立したあと、こどもの排便状態を親も本人も把握していないことが多い。

洋式トイレになったため本人も排便状態を確認しづらくなり、また家族がばらばらの時間を過ごすことも多くお互いの家庭内での動きが把握しにくくなりました。そして社会全体が夜型の生活のため朝は忙しく登校前の排便時間がないことなどが原因と思われます。

②常に便が下着に付くとの訴えで受診する患者さんが増えてきている。

親は下痢もしくは便が我慢できないと思っています。しかしこれが遺糞で正体は便秘です。

③便秘と判断し浣腸しても、りきまない。便意すら忘れていて摘便を必要とする患者さんがいる。

排便時に肛門裂傷をきたすような強い痛みを経験すると排便を我慢し、結腸が拡張した状態となり便意すらおこらなくなってしまうようです。これが遺糞で、浣腸しても、りきんでくれず、摘便が必要になります。

④便秘が共存している夜尿症の患者さんで、便秘の治療だけで夜尿が治ってしまう患者さんが増えている。

夜尿の相談でなぜ排便状態をきかれるのか不思議がられますが、理由を話すと納得してくれます。

⑤最近のこどもの排便・排尿自立が遅い原因の一つとして幼児期の便秘があげられる。

便秘で硬い便になると排便時痛・肛門裂傷・痔をひきおこし排便への恐怖をいだかせてしまいます。トイレトレーニング時のトイレを拒否する一つの要因となっているというデータがあります。

治療としては、直腸内の便塊を除去後、維持療法（食事・排便指導+薬物療法）を行います。そして患者や家族の便秘に対する理解不足・薬物療法に対する偏見や先入観と辛抱強くかかわっていく必要があります。またこれを機に生活習慣を見直し四快（快便・快食・快眠・快動）を大事にしたいものです。

年末年始休診のお知らせ

年末年始休診期間

平成25年12月29日（日）～平成26年1月5日（日）

なお、救急につきましては平常どおり対応を行っておりますので、表のホットラインをご利用ください。何かとご不便をおかけしますが、よろしくご配慮のことお願い申し上げます。

※12月28日（土）の9:00～12:00は、通常どおり病診連携室の業務を行います。